



中部教育事務所だより「絆」7月号

令和7年7月15日(火)



チーム学校による生徒指導体制づくり～SSW・SCの積極的な活用を～

新年度が始まり3か月が過ぎましたが、学校の様子はいかがでしょうか。児童生徒の悩みやストレスの影響による問題が増える時期です。そこで、今回は生徒指導体制づくりで重要な役割を担う「SSW（スクールソーシャルワーカー）・SC（スクールカウンセラー）」について再確認しましょう。

SC……児童生徒の悩みや抱えている問題の解決を支援する心理の専門家。

児童生徒や保護者への相談活動、学校に対する助言・援助、校内研修の実施等を行う。

SSW…児童生徒を取り巻く環境に働きかけて、問題の解決に向けて支援する福祉の専門家。

家庭訪問、児童生徒や保護者への相談活動、校内研修の実施等を行う。

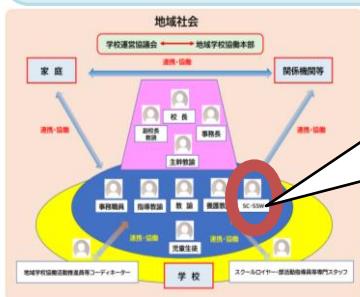


図3 チーム学校における組織イメージ
「生徒指導提要」(文部科学省:令和4年12月)

月末に、中部教育事務所でSSW連絡協議会を行っています。
その中でSSWから寄せられた声を紹介します。

◎ 職員室のSSW用席の確保や、児童生徒・保護者に関するSSWへの積極的な相談から、チームの一員としての認識の高まりを感じます。

▲ 学校によっては、SSWに対する声かけや相談件数が少なく、温度差を感じます。先生方も忙しいとは思いますが、廊下ですれ違った際でもよいので、ぜひ声をかけていただきたいです。

昨年度からSCは公立小・中・県立学校（義務教育学校等含む）の全校に配置され、SSWは配置人数が増えています。連絡協議会において、SSWによっては、学校等のHelpの声を待っている状況が伺えました。SSW・SCの皆さんも専門性を生かし、学校が抱える課題を一緒に解決していきたいと考えています。ぜひ、積極的にSSW・SCに相談されてください。一人で抱えます、みんなで解決していきましょう。

お知らせ：小・中・義務教育・高等・特別支援学校生徒指導主事等連絡協議会（6/26,7/8）の講義資料（プレゼン）を中部教育事務所HPにアップします。研修等に御活用ください。

未来へのまなざし～SDGsと環境教育～

地球温暖化や生物多様性の損失等、環境問題は私たちの未来に大きな影響を与えています。このような中、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」は、より良い世界を目指すための羅針盤となっています。

本県では、SDGsの視点を取り入れた持続可能な開発のための教育に取り組む中で、地域の資源や人材を活用した4R活動を中心とした環境教育を推進し、**循環型社会の担い手**として主体的に行動できる児童生徒の育成を図っています。環境教育は、単に自然について学ぶだけでなく、環境問題の原因や影響、そして解決に向けた行動を考える力を育むものです。この考える力を育むことは、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」に繋がるものであり、目標13「気候変動に具体的な対策を」や目標15「陸の豊かさも守ろう」など、環境に関わる目標達成に不可欠です。

各学校では既に、様々な形で環境教育が行われています。例えば、**ゴミの分別徹底や節水・節電の呼びかけ**は、目標12の実践です。また、地域の自然観察や清掃活動は、目標14や15への理解を深めます。

これらの活動を通して、子供たちは環境問題が身近なものであることを実感し、自分にできることを考えています。

SDGsは、私たち一人ひとりの行動にかかっています。子供たちの学びを応援するとともに、ご家庭や地域でも環境に優しい行動を心がけ、持続可能な未来を共に築いていきましょう。



【お知らせ】裏面もぜひご覧ください。



中部教育事務所だより「絆」7月号

令和7年7月15日(火)



「エリアサポート体制」に係るエリア研修（専門性向上）を開催しました。

中部教育事務所管内の3地区において実施されたエリア研修（専門性向上）の様子を紹介いたします。この研修は、小・中学校特別支援教育担当者や認定こども園・幼稚園・公立保育園（所）、県立学校関係者の希望者等を対象としています。発達障がいを含む障害のある児童生徒に対して、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導及び支援が行われるようにするために、特別支援教育を担当する職員を主として専門性の向上を図るとともに、地域に根ざした特別支援教育体制の整備・充実に資することを目的としたものです。

宮崎東諸県エリア研修

7月3日（木）佐土原総合文化センターにおいて実施しました。「エリアサポート体制」の説明後、「環境づくり」や「授業づくり」についての協議を行いました。

参加者の感想

エリアサポート体制について幅広く理解できました。協議では、各校のコーディネーターの対応について知ることができ、大変有難く思いました。抱えている悩みが同じだったときに安堵感を覚えると同時に、今後の対応の仕方について意見交換ができました。

小グループで各学校の実態に合わせて工夫している環境づくりや授業づくりをうかがえてとても参考になりました。



南那珂エリア研修

7月3日（木）南郷ハートフルセンターにおいて実施しました。「インクルーシブ教育の充実」についての説明後、「講話」、「実践発表」、「協議」を行いました。

参加者の感想

日々の通級指導や校内支援に携わる中で、児童理解の大切さと校内全体で支える仕組みの必要性を実感しています。特に印象に残ったことは、学校では教えない内容：通級指導で意識する「将来を考える5つのキーワード さしすせそ」と褒め方「5つのS」+具体的な行動、そして見届けです。矢野先生の話は毎回勉強になります。また勉強する機会があると嬉しいです。



西都児湯エリア研修

7月8日（火）木城町総合交流センターリバ里斯において実施しました。「エリアサポート体制」の説明後、「実践発表」、「協議」、「教材・教具の紹介」を行いました。

参加者の感想

保育園での実践内容の話を聞いて、小学校の自立活動でも十分に取り入れられる工夫や視点が多くあることに気付かれ、とても勉強になりました。

年齢や発達段階の違いはあっても、子ども一人一人の姿に応じた支援や、生活全体を通じた学びの大切さは共通していると感じました。今後の実践に活かしていきたいです。



夏季休業期間中に全小中学校において全職員が参加する『指導力向上研修』の実施をお願いしています。研修で使用する資料を中部教育事務所のHPにアップしました。

アクセス方法は、別途各学校に連絡済みです。研修終了後に、別紙I（実施報告書）を作成して、市町村教育委員会へ御提出ください。

問合せ先：中部教育事務所
(担当：濱砂)

TEL (0985) 44-3322

代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、「ひなたの学び」を推進しています。